

SSH 首都大学東京 都立高校生のための先端研究フォーラムに参加しました 20170605

6月5日（月）、「第1回首都大学東京 都立高校生のための先端研究フォーラム」が開催され、前期・後期生徒合わせて15人が、首都大学東京へ行っていました。

はじめに、川上浩良教授（都市環境学部都市環境学科分子応用化学コース）が、「化学が挑む『地球環境問題』」と題して講演会を行い、研究について大事なこと（「0から1を生み出すだけでなく、そこからさらに引き上げる努力が大切」など）をお話し下さいました。

次に、首都大学東京の学生の皆さんが、大学に入るまでに行った準備、大学生活の様子、さらに、卒業後の進路についてお話し下さいました。そこでは、「勉強は、受験のためでなく、将来につながっている」、「大学を選ぶときは、妥協せずに、本当に学びたいことを基準に選ぶ」などのアドバイスをいただきました。



充実したフォーラムになりました